

HAPPY MEDIA

登別市・伊達市・白老町

小学生のための お仕事ノート

しょうがくせいのための
おしごとのーと

けんけん
はっけん

たんけん
探検



小学校 年 組

名前

タブレットやスマートフォンのカメラで
QRコードを読み込んでみよう!



ひょうし
表紙にかざしてタップしよう!



産業廃棄物
処理

最新技術を使って産業廃棄物を管理し、
未来の地球と暮らしを守っています



もっと、くわしく
みてみよう!

有限会社さんぱい

職場見学可能です

所在地 / (登録事業所) 登別市千歳町226 (本社) 室蘭市日の出町3-3-3 TEL.0143-44-6106
https://san-pai.com 設立 / 1985(昭和60)年7月 従業員数 / 25名(2026年4月現在)

私たちの仕事

私たちは、みなさんのお家のごみとはちがう、工場や工事現場から出る「産業廃棄物」をあつかっています。リサイクルできない廃棄物を、適切にうめて、環境を守る大切な仕事をしています。そのために、空を飛ぶドローンや人工衛星からの情報を使う最新技術も活用します。これにより、どこに何をうめたかを正確に記録し、未来の環境に悪い影響が出ないように厳しく管理することができるのです。



▲登録事業所

産業廃棄物処理の仕事とは?

廃棄物の最後を守る、環境を支える仕事

最終処分場は、リサイクルできない廃棄物の最後の行き先です。環境を守りながら、安全に処理する大切な役割があります。社会や暮らしを支える重要な場所です。



最終処分場ってなに?



リサイクルできない廃棄物の最後の行き先で、土の中にあつめて時間をかけて自然にかえていく場所です。

どんな仕事をしているの?

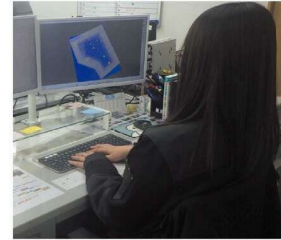


あつめられた廃棄物を分別し、安全に土の中へうめる作業を計画的に行い、適切に管理しています。

どう環境を守っているの?



水や土がよごれないように設備や工夫を取り入れ、周りの自然や生活環境を守りながら作業しています。



どうやって安全に管理しているの?

最新技術で守る、廃棄物処理の現場

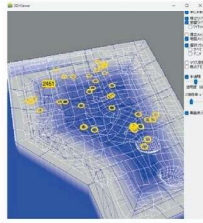
地形図情報システムやドローン測量を活用し、処分場の状況を正確に把握しています。3Dで地形を見える化することで、安全で信頼できる管理を行っています。




地形図情報システムで管理する
処分場では、地形図情報システムを使い、どこにどんな廃棄物がどれくらいあるかを管理しています。位置や量を正確に把握することで、効率的な運営が可能になります。



ドローン測量で空からチェック
ドローン測量を使って処分場全体を上空から測ります。人が入りにくい場所でも安全に調べることができ、効率よく正確な地形データを集められます。



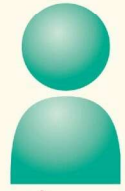
3Dで地形を見える化
測量したデータをもとに、地面の形を3Dで再現します。高さや容量、地形の変化がひと目で分かり、より分かりやすく管理できるようになります。



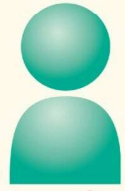
安全と信頼を支える仕組み
こうした技術により、処理の流れを正確に記録・管理できます。その結果、安全性が高まり、地域の人たちにも安心してもらえる運営につながっています。

働く人の声

仕事のやりがいを聞いてみました。



埋立担当 環境事業課
Nさん



企画担当 総務企画課
Hさん

大きな機械で未来の地球を守る
工場などから出た廃棄物を、大きな機械を使って安全に片付けています。地球の環境を守るこの仕事で、「お客さまから「ありがとう」と言われると、とてもうれしく、やりがいを感じます。

地域と地球の未来を考える仕事
会社の未来を考え、新しい事業を計画する仕事です。みんなが成長しながら働ける環境を整えることも行います。地域社会の役に立てることが、大きなよろこびであり、やりがいです。